

政友会 水谷 進 議員



① 市政について (1) 交通弱者の安全安心について

質問① 市内の危険個所をどのように把握し対処しているのか

答弁① 自治会からの要望や行政懇談会、PTA会議、道路パトロールなどから危険個所の把握を行っている。カーブミラーは平成18年度要望197件中155件施工した。また、グリーン歩行帯は車の速度を抑制し、歩行者の安全確保を目的で設置している。地元で好評な為、標準化するよう警察に対し働きかけていきたい。

質問② 神戸中学校の移転先は開校までに安全が

確保されるのか。

答弁② 通学路については検討委員会で話し合われている。交差点や周辺道路については地元の理解も得ながら安全の確保を進めていきたい。

質問③ 点字ブロックの重要性をどのように考えているのか。

答弁③ 視覚障がい者の方の社会参加を目指す上で大変重要と考える。平田駅周辺については現行の基準に合うよう改修を検討していきたい。

質問④ 交通弱者の安全を今後どのように確保していくのか。

答弁④ 交通安全条例に沿って進めていきたい。

あくていぶ21 伊藤 健司 議員



① 鈴鹿市療育センターの充実について ② 高齢者の権利擁護について ③ 観光関連施設の整備について

質問① 鈴鹿市応急診療所の移転に伴い、鈴鹿市療育センター改修計画と毎日通うことのできる体制についてどのように考えているのか。

答弁① 今後、本格的な検討に入る予定だが、施設関係者や保護者の方の要望をふまえた改修をする。療育センター利用者が毎日通うことができるためには改修にあわせて専門職員の増員配置も一体となって進めていく。

質問② 高齢者の虐待等、著しく侵害された人権

を擁護する仕組みをどのように構築していくのか。

答弁② 高齢者虐待防止について、防止マニュアルにおいて対応窓口の明確化、具体的な対応手順を作成し迅速に対応できるシステムを構築したい。

質問③ 観光関連施設の整備において、特にトイレなどバリアフリー化の推進が不可欠な場所についての整備支援をどのように進めていくのか。

答弁③ 例えば、神社・仏閣等の中でも文化財指定されているものについてそれを保存する補助金交付はあるが、バリアフリー化の助成はない。鈴鹿市観光協会において一部を補助する制度を活用していただく。今後のバリアフリー化は仮称「鈴鹿市観光まちづくり推進協議会」の中でも検討・推進に努める。

あくていぶ21 森 喜代造 議員



① 高齢者対策について ② 地震対策について ③ 平田野中学校の移転について ④ AED (自動体外式除細動器)

質問① 市内において独居老人の数は把握しているのか。また老人が困った時の相談場所は何ヶ所あるのか。

答弁① 現在の数は4,989人で把握については、災害時での対応及び平常時における相談、見守り等にも必要であり、手法等について検討したい。また、相談できる場所は、地域包括支援センター4ヶ所と在宅介護支援センター9ヶ所で様々な相談に応じており、市や鈴鹿

亀山地区広域連合と連携して支援にあたっている。

質問② 避難所の誘導方法及び食料の備蓄場所と備蓄数を尋ねる。

答弁② 市の方で避難場所をお知らせする。避難所までは自力で移動願いたい。備蓄場所は市役所と市内の小学校30校に3万6千食を備蓄している。

質問③ 現在の進捗状況について説明されたい。

答弁③ 学校用地として約4万㎡を確保している。建設委員会等で協議を重ね平成25年の開校をめざす。

質問④ AEDの設置状況及び講習会について。

答弁④ 公共施設はほとんど設置されており、企業にも設置を進めたい。講習会は年間4千人が受講しており、イベント等にも随時貸し出しを行っている。